

平成29年5月30日

加西市議会議長 三宅 利弘 様

総務常任委員長 衣笠 利則

総務常任委員会所管事務調査報告について

総務常任委員会において、下記のテーマについて、調査・研究を行い、その結果をまとめましたので、別紙のとおり報告いたします。

記

1 テーマ

人口増施策について

総務常任委員会所管事務調査報告書

1 テーマ

人口増施策について

2 テーマ選定の経緯

加西市では現在、「5万人都市再生」を目指し、人口増施策として多種多様な人口増対策事業を実施しているところである。

平成23年から現在までの地道な取り組みにより、社会増減においては改善の傾向が窺えるが、現段階においては、50余りの人口増に関連した施策の実施にも関わらず、結果的に成果が見える状況にない。

そこで委員会として、「人口増施策について」をテーマとして設定し、数ある人口増施策をさらに有効なものにするため、現状を把握し、問題解決のための調査・研究を行っていくこととした。

3 人口減少の要因解析

色々な施策を実施しているのにも関わらず、「人口が増えない、人口減少が続くのはなぜ」ということで要因解析からはじめ、ワークショップを2回実施した。

(1) ワークショップ1回目は、「なぜ人口が増えない」の要因を検証した。

詳細要因について出された意見は、社会、人、住まい、職場、教育、福祉・医療、交通、公共サービス、宣伝の項目に分類した。

その内、人（晩婚化等）、住まい（家賃が高い等）、職場（労働条件、福利厚生等）、宣伝（施策のアピール等）に関する項目について、詳細要因が多く集まった。

(2) ワークショップ2回目は、「加西市の良いところ」について意見を集めた。

- ・自然環境では災害が少ない。温暖である。
- ・学校、教育関係では市内11小学校、4中学校、特別支援学校ともハード面では整備され、北条高校の活性化、播磨農高の教育、部活動、そして地域への貢献等新時代教育へと前進している。
- ・公共サービスでは、ゴミ袋の値下げ、水道料金の2割カット、下水道の市内全域での整備、医療・介護の充実など、生活環境が整っており、支援も充実している。
- ・文化、スポーツ、公民館活動が活発に行われている。

などの意見が集まり、加西市の利点や魅力は多くあり、もっとアピールできると思われた。

4 先進地事例調査

委員会として、人口増施策を積極的に推進している各市の取り組みについて、視察を行った。

(1) 愛媛県新居浜市（子育て支援）

① エンゼルヘルパー派遣事業、

当該事業は、妊婦あるいは子と母が、妊娠中や出産後または体調不良により、周りからの援助を受けることができず、家事や育児等が困難になったとき、市の委託事業者がヘルパーを派遣し、家事や育児の援助を行っている。他の家族と同居ではない、または、近くにいない家庭にとっては大変安心できる制度で、有効な子育て支援施策である。

② 定住人口拡大事業（三世代同居支援事業・三世代あつたかかぞく同居リフォーム応援事業）

当該事業は、三世代同居により、子育てしやすい環境を整えようとするもので、それに係る住宅取得やリフォームに対し一部を補助している。定住人口拡大事業については、加西市も進めているが、三世代同居の定住支援は意義ある事業ではないか。

(2) 愛媛県四国中央市（公共交通）

① デマンドタクシー事業

当該事業は、利便性を高めた公共交通の整備と高齢者等の交通弱者支援が主な目的とされており、ほぼ市内全域をカバーしている。自治体と運行会社が連携し運営している。先進的な取り組みであるが、利便性を高めるほど自治体の負担が増え、それを補うほど利用者はない状況で、課題を残している。

(3) 兵庫県相生市（子育て支援事業）

① 「11の鍵」

当該事業は、保育料、給食費等の無料化や妊婦へのタクシー助成券交付をはじめ11の施策の総称。特に若い世代をターゲットに、子育てしやすい環境整備と人口減少対策、定住促進がなされていた。成果が出るのは数年後になると思われるが、そのためには継続、点検、PRが必要である。

5 検討結果

(1) 人口減少による様々な影響について、あまり市民に認識されていないのではないか。

(2) 男女共に未婚者が激増している。

(3) 生涯の働き場所が不足している。また加西市の特色である農業では、若者の就農者の呼び込みがさらに必要である。

(4) 市外からの通勤者が多く、昼間人口が多い。

(5) 自然環境、教育、公共サービスの面では、加西市は大変住み良いところである。また、水道料金が高いとするイメージを打破する必要がある。

(6) 50余りの人口増施策が浸透していない。

これらの項目については、今後も委員会において議論を重ねることが重要であると認識している。また、行政の施策すべてにおいて、人口の問題は大変重要であり、直近の問題では、幼保施設の統合、小中学校の児童生徒数の減少、建て替えを含めた市立加西病院のあり方等、数々の課題は、人口問題を基本として考えるべきことである。

6 意見及び要望並びに提言

(1) 自治会活動の危機等、人口減少による様々な影響について、市民に認識してもらえよう努めること。また、各自治会への定住促進や、空き家の積極的な広報と活用に努めること。

(2) 未婚者への積極的な支援として、婚活支援者（仲人役等）を委嘱するなどし、出会いの機会を増やすよう検討すること。

(3) 企業を誘致し、生涯の就労先と成り得る事業所を増やすとともに、魅力ある労働条件の構築に努めること。また、加西市の特色産業である農業の活性化に努めること。

(4) 住環境の整備、市街地を中心とした住宅地の整備に努めること。

(5) 加西市は、安全で安心な住み良い市であることの積極的な広報に努めること。

(6) 加西市が進めている人口増施策の効果を検証し、取捨選択を行うこと。